

ひがしどおり 議会だより

No. 5 1



11月26日(日)
村産業・健康まつり

平成26年11月
第4回（定例会）
11月27日開催
～12月5日まで

P 2



一般質問	· · · · ·	P 3
教育民生常任委員会	· · · · ·	P 6
要望活動	· · · · ·	P 8

全国基地協議会東北部会	· ·	P 8
原発立地議会サミット	· · ·	P 8
研修会	· · · · ·	P 9

第4回定例会 開催される



提出案件と審議結果

議 案	審議結果
報告 専決処分の承認を求ることについて 平成26年度東通村一般会計補正予算第3号	原案承認
報告 専決処分の承認を求ることについて 平成26年度東通村一般会計補正予算第4号	原案承認
報告 東通村教育委員会の事務点検及び評価に関する報告書	報告
東通村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
東通村特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
東通村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
東通村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
わが村の先生制度特区に係る東通村費負担教職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
東通村国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
東通村避難施設設置条例	原案可決
平成26年度東通村一般会計補正予算第5号	原案可決
平成26年度東通村国民健康保険特別会計補正予算第2号	原案可決
平成26年度東通村介護保険特別会計補正予算第2号	原案可決
平成26年度東通村下水道事業特別会計補正予算第1号	原案可決
平成26年度東通村水道事業会計補正予算第2号	原案可決
青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
議員提出議案 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	原案可決
議員提出議案 政府による緊急の過剰米処理を求める意見書	原案可決
議員提出議案 「手話言語法」制定を求める意見書	原案可決

成26年第4回定例会が11月27日に招集されました。定例会には村長より、報告案件3件、条例案件7件、補正予算案件1件、議員提出議案3件が提出され、全議案が原案どおり可決されました。

先議 案件

人事院勧告及び青森県人事委員会勧告に基づく、議員・特別職・教育長・職員等の期末手当及び勤勉手当の支給に関する条例の一部を改正する必要があり、先議したるものであります。

一般質問



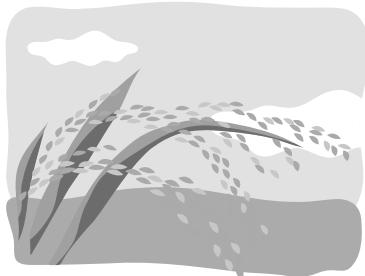
農家の救済を考えているか!!

吉田光男議員

今年の稻作は、春以来、好天に恵まれたこと、又、台風など自然災害の被害もなかつたことなどから、国の発表による作況指數が「南部・下北」で10.6、いわゆる豊作となつております。

しかしながら、平成26年産の米価は、かつてないほど大幅な下落をして、

平成26年産米の
価格下落に伴う村の対応について



東通村を含めた下北地方の主力品種の「まつしぐら」で、農協に出荷した場合、概算金が1俵あたり平成25年産の1050円から本年産は730円と実に3割を超える引き下げとなつていて。これは、採算ラインを割る過去最低の額であり、コメ農家にとつては極めて深刻で、豊作を手放しで喜べないという過去に

経験したことのない状況に置かれている。私としても、このような状況は、村内コメ農家の生産意欲の減退や高齢農家によって支えられてゐる村の農業の維持・發展にとつても、憂慮すべき事態であると大変心配しておりますので、これに対する村の対応策をお伺いしたい。



国

が10月15日現在



で発表した本年産米の青森県の作況指數は1.0

23万5千トン上回つてゐる。下北地域においても作況指數1.06の豊作基調の作柄となつた。

加えて、全国的に米の消費の落ち込みが進展する中、平成27年6月末の在庫水準は233万トンと増加が見込まれている。

政府が昨年打ち出した、四つの改革を柱とする新たな農業・農村政策は、平成30年産米からの生産調整廃止への農家の不安や、今後の米価の動向など、将来の経営展望が見えないといった声が高まる中で、今年度よりスタートした。

全国では作況指數1.01、収穫見込量は25万7千トン、

千トンで、それぞれの生産数量目標を1万トン、

農協へ米を出荷し支払われる概算金は、主力品種の「まつしぐら」で、



平成25年産米の1俵当たり10500円であったものが、本年産は7300円と大幅な下落で、農家にとって大打撃であり、次年度に向けての生産意欲の低下や農家経済への影響を大変危惧している。国では、米価等が大幅に下がり、農業収入が減少した場合に備え、一定の補填を行う収入減少影響緩和対策の制度を設けており。この対策は、ナラシ対策と言われているもので、農家に対しては、米や大豆などの価格が大幅に下落した場合、収入減少額の一部が補填される保険の様な制度である。

平成26年産の村におけるナラシ対策の加入者は、米で4名、大豆での加入が集落営農を行っている。

加入要件には、様々な規定があり、また、加入者は、所定の積立金の拠出

も必要となり、これらの加入要件のハードルの高さがこの制度への加入が進まない要因ともなっており。国は、平成26年産に限り、積立金の拠出がなくとも、一定の補填が受けられる対策を講じることとした。

農家が将来にわたり、コメを中心とした水田農業を安定的に行うには、保険的な要素をもつていい。この対策への加入が基本であり引き続き加入促進を図りたい。

村では、先般、11月21日に対象農家に対し、対策の概要や申請手続き等の説明会を開催した。

できるだけ多くの農家がナラシ対策に加入できるよう支援して参りたいと考えている。

財

政が大変厳しい状況にあるが、その中にあって、

【再質問】

村農業再生協議会の中で支援策を講じられること

◎平成26年度一般会計 補正予算第3号

平成26年10月16日発生の小田野沢地区における強烈な突風により倒壊した建物等の撤去費400万円を追加。



A 活動に補助制度の活用が重要と紹介、積極に活用された、行政としての支援の意、地域活動や発表会等を通じた評価、後継者不足は認識、補助金それ以外の支援等様々な議論が必要

Q 相内祥一議員

- ・未納者3名、債権回収マニアルで実施、見込有、回収対策と回収見込
- ・成人式3連休中日実施は
- ・奨学金の返還未納者数アンケートでむつ市と重複し美容院が対応不可

Q 太田壽一議員

- ・郷土芸能団体は、財団から毎年補助されたか、また、活用していないのか
- ・村の助成とは金銭的かそれ以外を意味するのか
- ・一次評価で郷土芸能団体が活発化とあるが後継者不足等で逆に感じるが、郷土芸能団体が、村に20団体ある補助金の増額は将来的に保存が危ういが

◎東通村教育委員会の事務点検及び評価に関する報告書

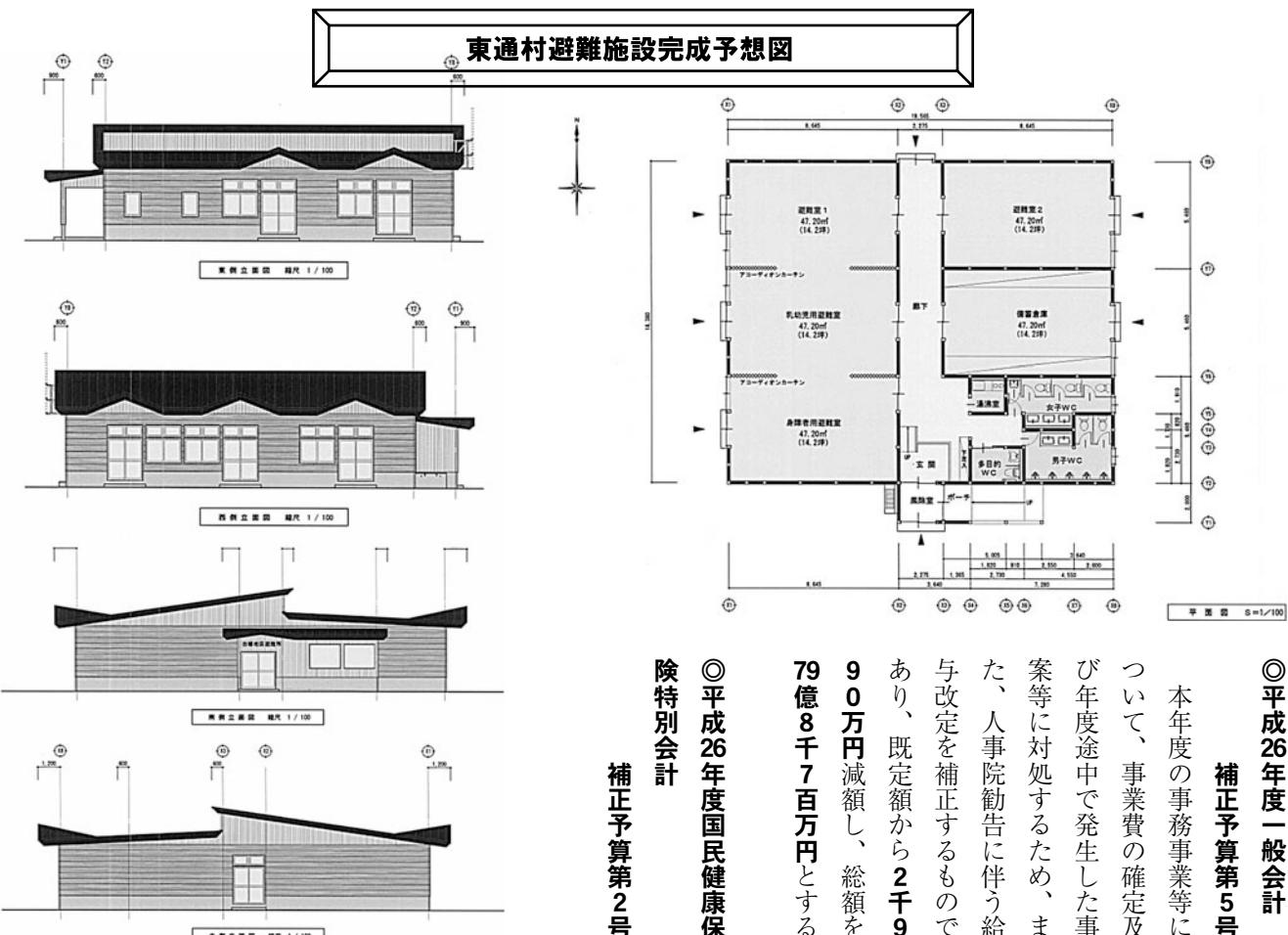
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定による議会報告

質問

11月定例会

◎東通村国民健康保険条例の一部を改正する条例

国の産科医療保障制度の施行に伴う、その保険料と合わせて42万円とされた出産育児一時金について、平成27年1月から保険料の金額が3万円から1万6千円に変更されることから、総額を42万円のままでする健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、東通村国民健康保険条例の関連条項を改正。



千368万5千円とする。

既定額から216万7千円を減額し総額を2億5千円とする。

議会の議決を求めた。

◎平成26年度一般会計補正予算第5号

本年度の事務事業等について、事業費の確定及び年度途中で発生した事案等に対処するため、また、人事院勧告に伴う給与改定を補正するものであります。既定額から2千9

9億8千7百万円とする。

◎平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第2号

万円を追加し、総額を7億9360万円とする。

◎平成26年度下水道事業特別会計補正予算第1号

管理委託料、工事請負費等の減額及び給与改定による人件費等の追加、既定額から216万7千

越分の徴収増額が見込まれ、徴収移管した青森県市町村税滞納整理機構への負担金、保険給付費の不足分等291万7千円追加し、総額を9億9千円とする。

◎平成26年度水道事業会計補正予算第2号

企業職員の給与改定に伴う人件費23万7千円を追加、収益的支出の既定額3億65万2千円を3億88万9千円とする。

◎青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

平成27年4月1日から、構成団体として青森市を加入させること及び共同処理する事務のうち、市町村税等の滞納整理に関する事務に青森市を加えるため、青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び合規約の変更について、議会の議決を求めた。

委員會

進路状況は、平成20年度の中学校統合以降、公立学校への進学率は上昇。しかし、本年4月の学力分析では、特に現3年生は学年が進むにつれ全国レベルから徐々に引き離されている。

ベルにある。
いじめについては、これらに似た「カラカイ」はあつたものの、いじめ防止基本方針を作成し対策に当たつている。



係のもと、学校運営に創意と工夫をこらし、施策の柱を中心とした学校教育を推進。

重点項目は、「保幼小中一貫教育の推進」では、子どもの発達段階と学習の連続性を重視した保幼小中一貫教育を積極的に推進し、学びと育ちを繋ぐ一貫教育推進体制の確立の充実。

するため、東通科の指導観の確立・全体計画の再構築・地域素材の開発。統合小学校としてスタートして6年目となり、特に、「教育は人なり」と言われ、学校職員こそが最大の教育環境であるを忘れず、教育への情熱を持ち、プロの教師としての使命感や誇りを胸に、子どもへ関わることに喜びを感じ、より良いサービスを提供する高い目標を

視察できなかっため、村教育委員会で諸問題を抱える事案のある次の旧校舎等を視察した。

がれ応急処置がされていた。

旧石持小中学校については、同じく地元で一部活用されているが、県道むつ尻屋崎線側の校庭敷地境界線上の樹木が、隣接する住宅等を覆うなど事象が見られた。

◎ 東通小学校

成26年度学 説明。

の育成、効果的な学習環境や指導体制を整備し、英語教育を推進。

くりのための学力の充実、「実践的コミュニケーション能力の育成」、

冬季の屋根の雪が村道に侵入し、除雪に支障をきたす。

学校教育指導の方針と
重点。

「東進科の推進」は
こども園と小中学校の接
続を見通したカリキュラ
ムを編成し、一人一人の

「自立した社会創造の担い手の育成」の3つの「施策の柱」を掲げ連携。

旧日名小中学校にて、
ては、風雨や積雪などに、
より屋根が崩れ落ちる等
著しい損傷である。

な幼児児童生徒を育成するため、学校と家庭、地域社会相互の深い信頼関

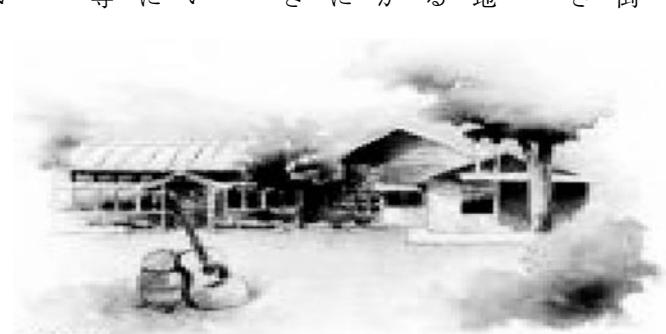
子供が自己の将来の生き方や在り方や社会の在り方を創造できる力を育成

◎ 旧学校施設等の視察

旧大利小中学校について
では、地元で一部活用さ
れているが一部屋根が剥

◎旧学校施設等の視察

旧田名小中学校はつい
ては、風雨や積雪などに
より屋根が崩れ落ちる等
著しい損傷である。



委員会の意見

保

幼小中一貫教育現場の運営状況について、中学校の

一部学年でみられたが、

一部学年でレベル低下が全般的には教育現場、村

教育分析でレベル低下が

一部学年でみられたが、

一部学年でレベル低下が

一部学年でみられたが、

一部学年でレベル低下が

一部学年でみられたが、



▲東京一号機工事再開



**第9回全国原子力発電所立地議会
サミット開催**

昨年11月18・19日（火）第9回全国原子力発電所立地議会サミットが東京都で開催され、全議員出席し、全体・分科会が行われました。



**全国市議会議長会基盤協議会
東北部会第22回定期総会開催**

昨年10月28日（火）全国市議会議長会基盤協議会東北部会第22回定期総会が山形県東根市で開催され、小笠原議長が出席し、全議案が可決されました。

次回の開催を青森県三沢市に決定。



下北郡町村議会議員及び事務局職員 合同研修会開催



昨年11月11日（火）に下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会が開催されました。

講師には、青森県知事 三村知事らしい早口調で、休憩なしの1時間半講演を終了しました。

し、「攻めの農林水産業」を「三村申吾」氏をお招きして、「攻めの農林水産業」を講演頂きました。

陳情3件を審査

採択

「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情」

（陳情者）

宮城県肝臓病交友会・
B型肝炎被害対策東北
弁護団

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「政府による緊急の過剰米処理を求める陳情書」

（陳情者）

宮城県肝臓病交友会・
B型肝炎被害対策東北
弁護団

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を求める意見書の提出を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

青森県農民運動連合会
一般社団法人
青森県ろうあ協会

た。

採択

「手話言語法」制定を

（陳情者）

意見書を内閣総理大臣ほか関係機関に送付しまし

た。

（審査結果）
採択

（付託委員会）
教育民生常任委員会

（採択理由）

我が国においてウイル

ス性肝炎、特にB型、C
型肝炎の患者が3百50万

人以上と蔓延し、肝炎対

策基本法や特別措置法で

国の法的責任が明確とな

つている。措置法制定時

産業建設常任委員会

採択

（付託委員会）
（審査結果）

議会の動き

10月	9日	教育民生常任委員会
	14日	東京1号機工事再開に係る国・国会議員・東京電力へ要望活動（～15日）
	23日	青森県町村議長会役員県外視察研修（～24日）山形県
	27日	全国市議会議長会基地協議会東北部会第22回定期総会（～29日）山形県
11月	11日	下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会（～12日）
	12日	第58回町村議会議長全国大会（～13日）
	17日	第9回全国原子力発電所立地議会サミット（～19日）
	20日	議会運営委員会
	27日	第4回定例会招集
12月	4日	第4回定例会本会議（～5日）

議会を監視するのは『あなた』です。

11月定例会の傍聴人は40人でした。

あなたも議会の傍聴をしてみませんか。

傍聴は村政を知る良い機会です。

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。

臨時会は、必要に応じて開かれます。

詳しくは、議会事務局27-2111
(内線412・413)へお尋ねください。

議会傍聴

編集後記

平成26年11月第4回定例会が11月27日開会され、提出議案16件、議員提出議案3件を議決。12月5日閉会しました。

教育民生常任委員会に引き続き、産業建設常任委員会が10月から12月までの議会の動きをまとめてみました。

今後も引き続き、議会の役割として、公正で客観的な記事、地域住民に親しまれる、読みやすい、わかりやすい議会だよりづくりに努めますので、村民皆様の暖かいご指導、ご協力をお願い申し上げます。

次回は、総務企画常任委員会の担当です。